



通町橋を渡る国体旗リレー隊。通町のまち並みもなつかしい(昭和36年10月6日)

炬火^{きよか}とともに国体のシンボルといえる「大会旗」。

秋田まごころ国体の開会式を2日後に控えた昭和36年10月6日、
8月30日に前年の開催地・熊本を出発し、全国をリレーしてきた大会旗が秋田市入りしました。

大会旗は6日・7日の2日間、秋田市内と河辺郡をリレー。

翌8日、秋晴れの空の下、大観衆が待つ八橋陸上競技場へ入っていきました。

あきたノスタルジー

秋田の昔を、写真で振り返ります。